
モデルLXの反逆

hiroaki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モデルLXの反逆

【Nコード】

N5714F

【作者名】

hiroaki

【あらすじ】

LXは、世界政府が、戦争兵器として作り上げたレプリロイドしかし周りの奴は皆「失敗作」というライブメタルが組み込まれているこれ以上は次作で

第一話（前書き）

この小説は、ロックマンZ X、及び、ロックマンZ X Aを元に作成されました

ロックマン関係とは関係はありません

第一話

科学技術が発達した社会―

人間は、自らが作り出した機械生命体「レプリロイド」によって、大きな発展を手にした。

しかし、その後、人間と暴走したレプリロイドによる戦争が勃発し、世界は荒廃した。

戦争を終えた人間と、レプリロイドは、連合政府「レギオンズ」を成立。レギオンズは人間に、レプリロイドと同じ

強靱な機械の体を、レプリロイドには、人間と同じ、価値がある限られた寿命を法律で定めたのだ。

・・・世界が新たな歴史を歩み始めて数百年の月日が流れた・・・世界中に点在する遺跡は、野生化した機械生命体「イレギュラー」

が現れる危険地帯であると同時に、世界中に生み出された

ロストテクノロジーが眠る「宝の山」でもあった。一攫千金を夢見て遺跡を訪れる「ハンター」達。

ロストテクノロジーを我先にと求める人々は、それが数百年前の「戦争道具」であることを忘れていた・・・

???「ここは？」

防犯ブザーが鳴り響く

モデルLXが、発動した模様

防犯官「あそこだ!!」

LX「逃げなきゃ」

LXはクネクネ道を走り駆ける
パフッ

LXは上を振り向いた

ダクス「お前は、失敗作だ消えろ」

ダクスは、腕を降り上げ光を放つ

続く！！

第一話（後書き）

この小説は、これからも増えていきます
応援よろしく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5714f/>

モデルLXの反逆

2010年10月14日22時33分発行